

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	企業論 (Enterprise Theory)					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認方AL/資格対 応科目
	2037-2-23-102	専門科目	選択	2単位	2年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認方AL/資格対 応科目
	2437-2-23-041	専門科目	選択	2単位	2年次	前期		

① 授業のねらい・概要					
本授業では、企業について学修をする。企業と経営、企業・会社の概念と諸形態、企業の所有・経営・支配と経営目的、会社機関とコーポレート・ガバナンス、日本型企業システム、CSR についてその内容を講義し、企業の仕組みについて学修を進めていく。あわせて、経営学検定初級合格に必要な知識を得ることができる。					
② ディプロマ・ポリシーとの関連					
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力					
③ 授業の進め方・指示事項					
<p>【授業の進め方】</p> <p>①前回授業の振り返り</p> <p>②該当範囲の授業</p> <p>授業終了後、「振り返りレポート」の作成、「振り返りレポート」は、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。</p> <p>【指示事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 ・グーグルクラスルームを使用するので、使用方法を把握する。 					
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能					
「経営学」・「経営組織論」・「経営管理論」・「経営課題」を履修することが望ましい。					
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。					
経営学検定試験協議会監修・経営能力開発センター編(2023)『マネジメント検定試験公式テキスト(Ⅲ級) 経営学の基本』第7訂、中央経済社					
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。					
佐久間信夫編著(2017)『よくわかる企業論第2版』、ミネルヴァ書房					
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)					
授業においてワークする時間をつくり、自らが考えられる能力を向上させることがポイントとなる。想像力を働かす、部活やアルバイトでの経験と経営学を紐付けることが理解を促進させるひとつの方法である。					
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安					
(1) 独力で企業の仕組みを理解し、説明することができる。					
⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1) 企業の仕組みに関する知識	企業の仕組みを理解し、説明することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で企業の仕組みを理解し、説明することができる。	資料などを参照し、独力で企業の仕組みを理解し、説明することができる。	教員等の支援を受けて、独力で企業の仕組みを理解し、説明することができる。	独力で企業の仕組みを理解し、説明することができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%				15%		100%
(1)企業の仕組みに関する知識	85%				15%		100%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。振り返りレポートの総評をフィードバックする。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション	授業全体像の把握、授業後の復習、 授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、	120分
2	企業とステークホルダー	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
3	企業の形態、会社の種類	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
4	ベンチャー企業とアントレナシップ	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
5	大規模な株式会社における企業統治	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
6	大規模な株式会社の機関設計① 監査役設置会社	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
7	大規模な株式会社の機関設計② 指名委員会等設置会社	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
8	大規模な株式会社の機関設計③ 監査等委員会設置会社	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
9	コーポレートガバナンス・コード、 スチュワードシップ・コード	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
10	株主総会を再現してみる	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
11	株主総会の変化と株式の持ち合い	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
12	日本型企業システム 日本的雇用慣行	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
13	日本型企業システムを支えた制度 日本的な集団意思決定と稟 議制度	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
14	日本型の企業統治	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120分
15	日本の中小企業、全体のまとめ	授業全体の総復習、今まで講義内容の資料整理と 復習	180分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認方ALを行う。授業中に問いかけを行い、自らが考える時間をとり、その内容を発表し理解を深める。毎回授業終了後に振り返りレポートを作成し、クラスルームを介して提出する。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
昭和63年（1988年）4月から平成31年（2019年）3月まで31年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門においてシステム設計と運用など、物流管理部門において新規仕組みの構築と運用改善・物流教育など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンスなどの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の取締役の経験など様々なマネジメントに携った。
実務経験と授業科目との関連性
業務担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的に、具体的にビジネスの遂行・企画・具現化・改善などの一連のプロセスを教授することができる。現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。